



Rotary Weekly

広島空港ロータリークラブ週報

2018年5月9日発行

会長 乗越耕司 / 副会長 佐々木正親 / 幹事 河井一郎 / SAA 玉川勇二郎

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2017-18年度

イアン H.S. ライズリーRI会長テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす



MaY 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
休会 例会 例会 例会 休会

本日のプログラム (5月9日)

戸田 静雄 様
「品質第一主義の経営 経営の品質」

次回のプログラム (5月16日)

(株)FMみはら 局長 増原 進 様
「三原市のラジオ局 FMみはらについて」

第1111回 2018年4月25日 例会記録

点 鐘 乗越会長

ロータリーソング「それでこそロータリー」

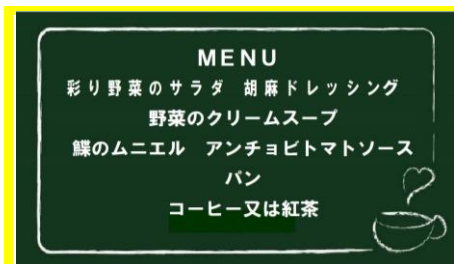
ビジター紹介

(西 条) 今谷敏彦さん

出席報告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本 日 (4/25)	27 1	20	2	3 2	88.00
メイク	灰谷・重森				
前々回 (4/11)	27 1	20	0	4 3	83.33
メイク					

食 事 時 間



会 長 時 間



先日の沼田川クリーンキャンペーンはどうしても時間が調整できなく欠席して申し訳ございませんでした。

同日12:30からマツダスタジアムで親善試合がありました。実際にグラウンドに足を

入れると非常に広く綺麗で、素晴らしい環境の中で野球を楽しませて頂きました。おまけに本塁打！(気持ちはスタンドへ放り込んだつもりでしたが、外野を抜けてベースを一周することが出来ました。)本当に人生の中で、良い経験と思い出ができました。来年は、河井幹事がピッチャーが出来る年齢になりますので、実力でマツダスタジアムで試合できるように今から野球同好会のメンバーの皆さんは1年かけて自主練をして力を付けてください。

さて、本日は鎌田先生に卓話をしていただきます。演題は「私の職員指導経験」です。皆様の事業所におかれましても、従業員の指導はいろいろとご苦労されている点も多いかと思えます。今日の卓話を参考にして、皆様方の従業員さんが益々元気になってそれぞれの事業所が素晴らしい事業所になることを願いたいと思います。

国の方では、公文書、セクハラ問題など騒いでおりますが、本来の国民の為の審議が御座成りになっているように思います。しっかり国の為議論を正しい方向でして頂きたいと願っています。

もう少して連休です。しっかり英気を養って下さい。

幹事報告

《配布物》週報1109, 1110号

《回覧》元米山奨学生 黄琳娜さんから近況報告
沼田川クリーンキャンペーン参加お礼
4クラブ合同親睦ゴルフコンペ
日時 5月20日(日)10:34スタート
場所 三原カンツリーゴルフ
佐賀空港 RC 創立 20周年記念式典出欠
日時 6月9日(土)16:30~
場所 ガーデンテラス SAGA ホテル
《お知らせ》今年度委員長さんは活動報告を5月9日
までにメールで事務局に提出願います。

今後の例会・行事予定

5月

2日(水)	休会
9日(水)	例会(ゲスト卓話 戸田静雄様)
13日(日)	地区研修・協議会 会議 広島国際ホテル 13:00~16:40 懇親 ホテルグランヴィア 17:10~18:40
16日(水)	例会(ゲスト卓話 FMみはら局長増原進様) ★例会終了後 定例理事会
20日(日)	4クラブ合同親睦ゴルフコンペ 三原カンツリークラブ
23日(水)	例会(次年度委員会別活動計画)
27日(日)	クラブ戦略計画フォーラム ホテルグランヴィア 13:30~16:30
30日(水)	休会

6月

6日(水)	例会(戦略会議 part3 「我がクラブをもっと知ろう」)
10日(日)	第10期 RLI パート3 卒業プログラム ホテルグランヴィア 9:30~18:30
13日(水)	例会(これだけは知っておきたい 「ロータリーの基礎」) ★例会終了後 定例理事会
20日(水)	休会
23日(土)	最終夜間例会
27日(水)	休会



卓話時間

医療法人 仁康会
本郷中央病院

鎌田七男 様



「私の職員指導経験」

職員全体の意識高揚

①職員 200名の名前と顔を憶える

現場からの報告が上がってきたときに、名前は書いてあるが、顔が浮かばないと現場の状況がイメージできませんので、早く名前と顔を憶えます。

背景

- ・名称:広島原爆被爆者援護事業団
- ・設置主体:広島県・広島市
- ・被爆者専用特別養護施設
- ・施設:3つの園、2つの診療所、
デイサービス(利用者120名)
- ・入居者数:500名
- ・職員数:194名+パート



原爆養護ホーム倉掛のぞみ園の特徴

1 原爆被爆者のための特別養護ホーム

- ① 平成4年に県と広島市が共同設置の特別養護ホーム
- ② 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律に基づく運営
- ③ 介護保険法の対象外施設

2 入園定員西日本一の特別養護ホーム

- ① 入園定員300人を60人単位、5フロアで養護
- ② 毎朝ミーティングによる情報交換、指示(危機管理:3時間3日の原則)
- ③ 職員の健康管理、研修・研究活動の充実強化等

3 多様な来訪者

- ① 小・中学生等の平和学習の場
- ② 皇室、総理大臣、国会議長、年2回の市長慰問等
- ③ 介護福祉・看護・栄養・教員養成実習、研修医、外国医師等の研修受入

②月2回の朝礼・メッセージ(今、何を考えているか)

月2回のメッセージ例「8月6日が近づいて」平成28年8月1日

1. 入園者にとって:家族を失った悲しみの時期
2. 事業団として:慰問受け入れに多忙な時期
外来者からの評価(接遇、職員教育など)の時期
3. 介護現場では:気遣いが求められる時期
(公式訪問者、慰問者、家族訪問)
*まず挨拶(相手に分かる挨拶)
*心からの歓迎・感謝の気持ち
4. 職員個人として:平和希求の再確認時期
*オバマ大統領来広の意義を考える

③毎月「職員への手紙」発行(育休者へも発送)

職員の皆様へ(平成14年1号-平成28年84号)

第1号	平成14年4月4日	今年度の目標
第2号	5月8日	業務運営の合理化・効率化
第3号	6月7日	職員の資質および専門性の向上
第4号	7月1日	のぞみ園10周年に際しての3つのお願い
第5号	8月8日	8月6日とのぞみ園
第6号	9月9日	職員の健康管理
第7号	10月16日	職業病
第8号	11月11日	情報の共有
第9号	12月13日	今年ののぞみ園
第10号	平成15年1月8日	『個人の行動指標』と『組織の行動指標』
第11号	2月10日	ヒヤリ・ハット
第12号	3月7日	2年間の動き(成果)と今後の課題
第13号	4月11日	今年度の目標
第14号	5月6日	当のぞみ園の今年度の心構え
第15号	6月16日	園長から職員へのメッセージ
第16号	7月10日	介護サービス計画書
第17号	8月12日	来訪者への概要説明
第18号	9月10日	パソコン習熟
第19号	10月15日	お成りが教えるもの

現在は「産業医コメント」を発行(H29年5月-H30年3月)

- 平成29年5月 世界禁煙週間に際して
- 平成29年6月 全国安全週間に際して
- 平成29年7月 熱中症について
- 平成29年8月 腰痛予防対策
- 平成29年9月 防災週間(特に放射線災害について)
- 平成29年10月 労働安全衛生の動向
- 平成29年11月 インフルエンザについて
- 平成29年12月 若い時から健康の自己管理が問われている
- 平成30年1月 わが社の良いところ
- 平成30年2月 寒さと健康維持
- 平成30年3月 4月から保健指導体制が変わります

④施設の主体は何か(論点整理の基礎)

いろんな議論をしているときに、誰のための議論なのかを明確にすればあるべき姿に戻っていく。

⑤新規事業で意識づけ

事業団新規事業(主として倉掛のぞみ園関連)

平成13(2001)年	個人用テレビ視聴可能に
平成14(2002)年	各寮母室(現介護員室)にパソコン設置
平成15(2003)年	ケアプラン・ソフト導入
平成15(2003)年	ポータブルレントゲンの購入
平成16(2004)年	事業団OB会の結成
平成17(2005)年	居住費・食費徴収業務開始
平成17(2005)年	被爆60周年記念『紙碑』第5集発刊
平成17(2005)年	事業団ホームページの開設
平成18(2006)年	シャワードーム式入浴装置の更新
平成19(2007)年	各介護室にデジタルカメラ配備(入園者行動記録、家族への写真送付)
平成21(2009)年	X線撮影装置の更新
平成22(2010)年	事業団40周年記念『紙碑』第6集発刊
平成22(2010)年	診療所のCT撮影装置設置
平成23(2011)年	地デジ化配管工事
平成24(2012)年	公益財団への移行
平成24(2012)年	胃瘻・喀痰吸引等研修機関に認定
平成26(2014)年	福祉サービス第三者評価(県社協)受審
平成27(2015)年	被爆70周年記念『紙碑』第7集発刊
平成27(2015)年	介護・看護記録システムの稼働
平成27(2015)年	新5か年計画の策定
平成27(2015)年	中央監視装置、配膳車等更新
平成28(2016)年	労働安全衛生法に基づくストレスチェック

個人能力のレベルアップ

⑥資格取得の奨励(ごほうび提供)

忘年会の前にプロジェクターに示して、資格取得された方に心のこもったアルバムを手渡します。

(写真と私のメッセージとサインをいれて…)



いかに仕事をしながら資格を取ることが難しいかという事がよく分かっているものですから、是非ご褒美をあげたいと思い取り入れてきました。

倉掛のぞみ園職員資格取得状況

(平成28年10月1日現在)

区分	全職種		介護員(内数)	
	人数	割合	人数	割合
職員数	112人		92人	
介護福祉士	87人	77.7%	84人	91.4%
介護支援専門員	34人	30.4%	30人	32.6%
社会福祉主事	53人	47.3%	43人	45.2%
社会福祉士	8人	7.1%	8人	8.7%
特定行為(胃瘻・喀痰・吸引)認定者			53人	57.6%
指導看護師			7人	100%

⑦自己研鑽-全国研修会発表をめざせ



21年度	①入園者への『読みかたり』の取り組み ②認知症典型別ケアへのアプローチ
22年度	①生活歴の読み語りから状態変化の可能性を探る ②KYTによる研鑽 ③認知症典型別ケアへのアプローチ(2)
23年度	①アルツハイマー型認知症に対するアプローチ ②外部評価を受けるメリット ～緊急ネットワーク連携を促す取り組みから学んだこと～
24年度	①息リフレッシュ ②経営者からの聴き～成功例から見 ③福祉用具の有効活用
25年度	①楽しみを深める5 ②喀痰吸引等(2年) ③事故減少への取り組み

赤文字: 全国大会参加
青文字: 中国大会参加約
(40題から6題が選出)

26年度	①下痢に頼らない排泄を目指して ～介護ケアで出来る排泄援助～ ②重度認知症への歩行強化訓練の取り組み ～ピバウオーグ～ ③写真が魅せる入園者の園生活 ～眩風なフロアから華やかなフロアへ～
27年度	①良好な関係を作る意義 ～外部評価による職員啓蒙の必要性～ ②記憶に残っている歌の魅力 ～個別音楽療法～
28年度	①胃瘻施設された方と家族の関わり ～母の言葉と笑顔がみたく～ ②聴取り看護から10年経ちその在り方を検討 ～寄り添う気持ち・死生観の重要性～
29年	③全職員資力と優秀者の活用・排泄介助 ～おむつ外しを目指して～

⑧研修会（事業所提供と職員の自主的研修）

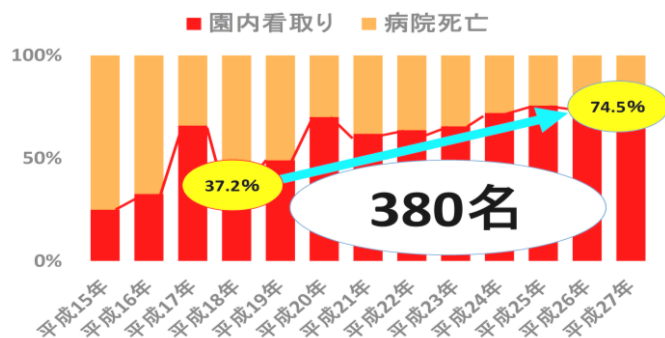


年5回の定期研修
 ・被爆者について
 ・職員健診結果、
 ・事業団について、
 ・倫理について、
 ・招請講師

自主的研修(看取りのロールプレイ、介護技術など)



のぞみ園での看取りの推移



園で十分ケアが出来、ご家族が納得され、穏やかに最期を迎えられます。

だんだんと園で看取る事が多くなりました。

10大ニュース

良い事も悪い事もその年の10大ニュースに入れます。過去を見渡すことが出来る良いツールになります。

平成18(2006)年 事業団 10大ニュース

- 1 皇太子殿下行啓・高円宮妃殿下お成り
- 2 シンドラー製エレベーター停止
- 3 給与制度の抜本的改正
- 4 多数の永年勤続者・資格取得者
- 5 100歳以上の入園者8名に、認知症も増加
- 6 「看取り」の充実
- 7 事例研究「足浴」を中国地区老人福祉施設研修大会で発表
- 8 恐怖のノロウイルス感染
- 9 施設・設備の整備(駐車場・非常出口舗装、トイレ改修、シャワードーム更新)
- 10 栄養ケア・マネジメント開始(のぞみ園)

平成19(2007)年 事業団 10大ニュース

- 1 祝開園やすらぎ園25周年・のぞみ園15周年
 - 2 各種業務委託等の全園一括及び複数年契約制度の導入
 - 3 のぞみ園での夜勤3人体制の実施
 - 4 全園の職員研修充実・強化の取組み
 - 5 感染症予防等マニュアルの見直し・対応充実
 - 6 事例研究「看取り」を全国老人福祉施設研究会議で発表、設備更新(やすらぎ園:空調設備・公用車、のぞみ園:適温配膳車・公用車)
 - 8 入園者100歳以上8名
 - 9 韓国ハプチョン研修受入
 - 10 看護師・介護員の不足状態継続
- 次点: 介護等直接処遇職員配置基準の見直しを厚生労働省へ要望

その他

⑨事故時の緊急対応法（3時間、3日の原則）

事故があった時にいかに早くトップが判断するかが非常に大事な事なのです。

⑩義務違反時の対応法（始末書）

広島空港ロータリークラブ会員の皆様のがん検診の受診状況を一言とのことですが、スタートはあまり良くなかったのですが、今着実に少しずつ受けられていますので、このまま続けられたら良いのではないのでしょうか。それぞれの方にそれぞれの問題点は多少あるかと思いますが、検診をする事が大事ですから是非皆様方も受けてください。



鎌田七男様 プロフィール

1937年生まれ。医学博士。広島大学名誉教授。

日本放射線影響学会名誉会員

日本臨床遺伝学会名誉会員

核戦争防止国際医師会議（IPPNW）日本支部理事

広島原子爆弾の身体的・精神的影響に関して長年研究。

中国文化賞、永井隆平和賞、日本対がん協会賞、

日本放送協会放送文化賞、日本医療功労賞、広島市民賞

2017年4月より

医療法人 仁康会 本郷中央病院 健診センター長
 内科認定医、認定産業医、認定健康スポーツ医、
 がん緩和ケア認定医、広島県がんよろず相談医など。

趣味：スポーツ

（ヨット⇒水上スキー⇒素潜り⇒マラソン⇒現在、山登り）

著書：「広島のおばあちゃん」同英語版、同仏語版など。



「広島のおばあちゃん」は、原爆が与える影響、核兵器の本当の恐ろしさを誰にでもやさしく分かるように書かれた本です。このような本はたいへん少なく、とても貴重です。一人でも多くの方に読んで載せたいと思います。

吉永小百合